

69期進路通信6

2020年4月9日(木)
大阪府立登美丘高校
進路指導部 3年担当

3年生になりました。自分の夢の実現のために何をしますか？

本来は4月8日が始業式でしたが、残念ながらGW明けまでの休校が決定されました。春休みに本格的に受験勉強の取り組みを始めた人も多いかもしれません。同時に何をどう始めていいかがわからず、焦って時間だけが流れてしまったという人もいたのではないかと思います。おそらく、この休校でしっかり対応できている人とそうでない人の差が大きく開くことが予想されます。この時間をしっかり未来の自分のために使ってくださいね。

時間は平等に流れますが、有限です。具体的に何をすべきかが大切です。

すこし、皆さんの勉強法をチェックしてみましょう。

1. やりたいことは決まっていますか？／勉強は始めていますか？／受験の仕組みはわかっていますか？

→大学や専門学校のHPは見ましたか？ 資料は取り寄せましたか？

2. 模試は受けましたか？自分の弱点はわかっていますか？

→誰でも、自分の苦手なことにはチャレンジしたくないもの。でもそれができるとどうかが結果を大きく左右します。時間がある今だからこそ、弱点補強を！

3. 学習計画を立てていますか？

→短期計画と中長期計画を立てます。何をいつまでにするのかを考える。

*いろいろな参考書や問題集に手を付けるのではなく、一つのことを完全にやりきることが大切。何度でも繰り返そう。

*自分が志望する学校の受験スケジュールに合わせて計画を立てよう。

*指定校推薦・総合型選抜(AO)や学校推薦型選抜(公募制推薦)で進路が決まるという考えで計画を立てるのはNG。12月以降に理科や社会に取り組み始めるのでは絶対間に合わない。一般入試までがんばるつもりで計画を！

4. どんな勉強法をしたらいいのか？

- ①知識を入れる事、考える事のどちらも大事。知識を入れる事、考える事のうち、自分が苦手な方を嫌がらないようにしよう。
- ②定期テスト前でも勉強をあまりしてこなかった人は、まず、知識を入れることに重点をおこう。
- ③テスト勉強を問題の解き方を覚えることでこなしてきた人は、なぜその解き方になるのかを考えるようにしよう。
- ④なぜそうなるのか考えるのは嫌ではないが、覚えることが面倒であまりしていなかった人は、知識がないと考えることができないことを自覚し、嫌がらずに覚えるようにしよう。

★知識と考えることの両方を大切にす。

★考える習慣をつけよう。

- ①答えをすぐ見ない。最低3分以上考える事。
- ②わからなければ、まず答えを見るのではなく、調べよう
- ③解法暗記ではなく、理論を理解しよう。これは数学や物理だけではない。

「〇〇は△△」と覚えるのではなく、「〇〇は□□だから△△」と理解することが大事。例えば日本史などでも、なぜそうなったのかわかっていたら、よく似た事項を混同してしまうことが少なくなります。

★基礎を大切に。

例えば関関同立の英語には文法問題はあまり出ません。だから文法は不要と思ったら大間違いです。もう少し難易度の低い大学の場合は、文法問題が多くなります。それは、文法が基本だからです。関関同立の入試問題は文法事項がきっちりわかっていることを前提とした問題であって、文法がわかっていない人には読めない長文だからです。

基礎がわかっていないと入試問題は解けません。夏までに基礎固めをできるように計画をたてましょう。→基礎ができたという人は、夏ごろになれば難易度の低い大学の過去問に取り組んでみるのもいいかもしれません。最近の大学の合格最低点は75%~80%のところが多いです。「まあまあできた」では通りません。

早くみんなに会って一緒に勉強したり、相談したりできる環境になることを

願っています。それを楽しみに今の時間を有意義に過ごしましょう。